

(お知らせ)



「リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業許可申請書」 に係る補正書の提出について

平成 21 年 4 月 7 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

当社は、本日、リサイクル燃料備蓄センターの使用済燃料貯蔵事業許可申請書（平成 19 年 3 月 22 日申請）に係る補正書（以下「補正書」という）を経済産業大臣に提出しましたのでお知らせいたします。

今回の補正は、申請後に得られた最新の知見などを反映するため、使用済燃料貯蔵事業許可申請書の記載内容の変更を行うもので、主な内容は以下のとおりです。

1. 記載の充実・適正化

(1) 横浜断層評価の変更（別添 1）

横浜断層について、追加地質調査結果を踏まえ、後期更新世以降（約 12 ～13 万年前以降）の活動性を考慮することに変更するとともに、同断層による地震を地震動評価に反映した。

(2) 自然環境に係る記載の充実（別添 2）

「使用済燃料中間貯蔵施設の安全審査における『自然環境』の考え方について」（平成 20 年 10 月 27 日 原子力安全委員会了承）に基づき、火山活動に関する評価の記載内容の充実をはかった。

(3) 設計進捗の反映（別添 3、4）

災害に強い施設作りを目指し、貯蔵建屋の壁厚の変更や耐震壁等の追加、金属キャスクの下部トラニオンの追加などの設計進捗の結果を機器配置図や使用済燃料貯蔵設備本体概要図等に反映した。

(4) その他

各種データの更新および記載を明確化・適正化した。

2. 工事計画の変更

工事の開始を平成 21 年 4 月から平成 22 年 7 月に、操業開始を平成 22 年 12 月から平成 24 年 7 月に変更した。

以 上

○添付資料

別添 1 : 横浜断層に関する評価の比較

別添 2 : 火山評価に関する評価項目の比較

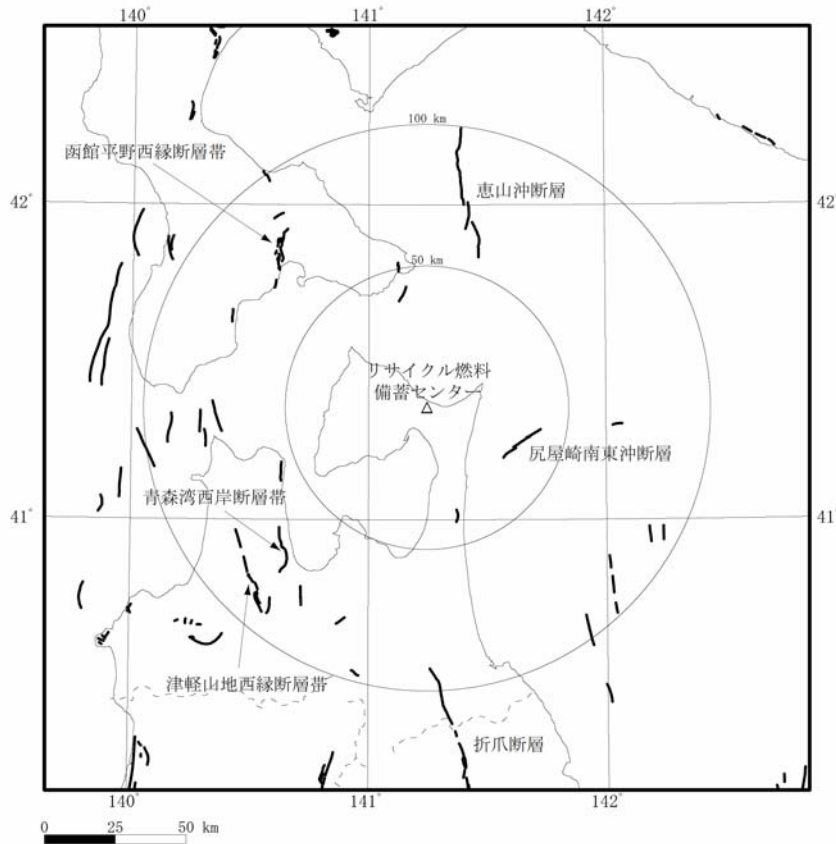
別添 3 : 貯蔵建屋機器配置図の比較

別添 4 : 金属キャスク概要図 (BWR 用大型キャスク (タイプ 1) の例) の比較

別添 1 横浜断層に関する評価の比較

補正前

【敷地周辺における活断層分布】

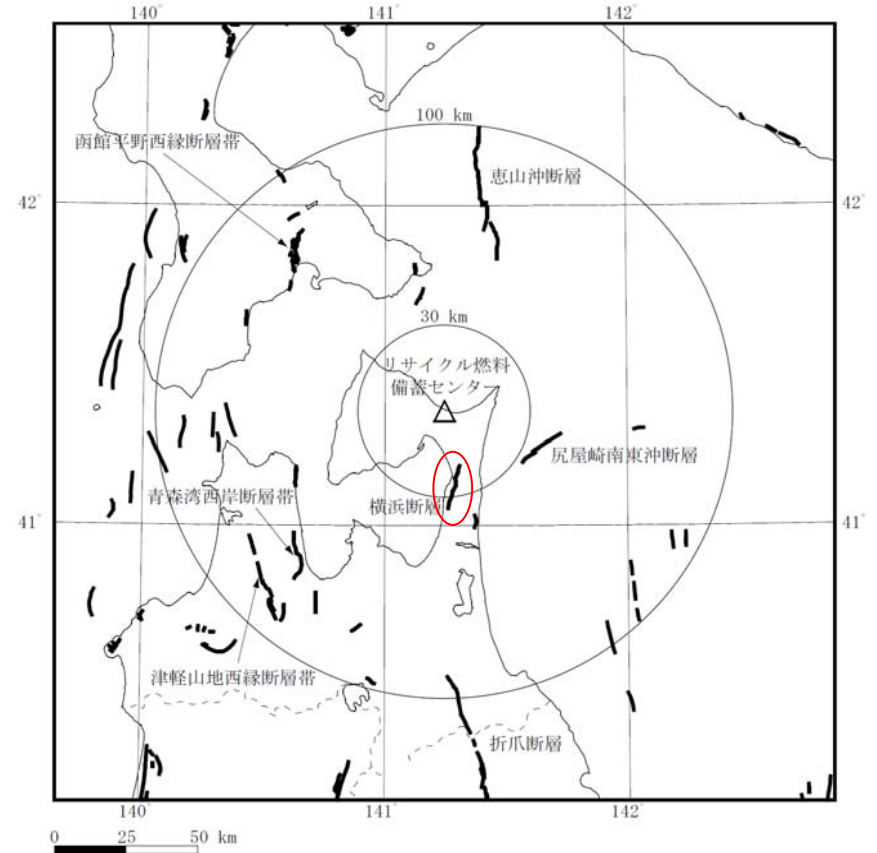


横浜断層は活動性なしと評価

(耐震設計上考慮せず)

補正後

【敷地周辺における活断層分布】



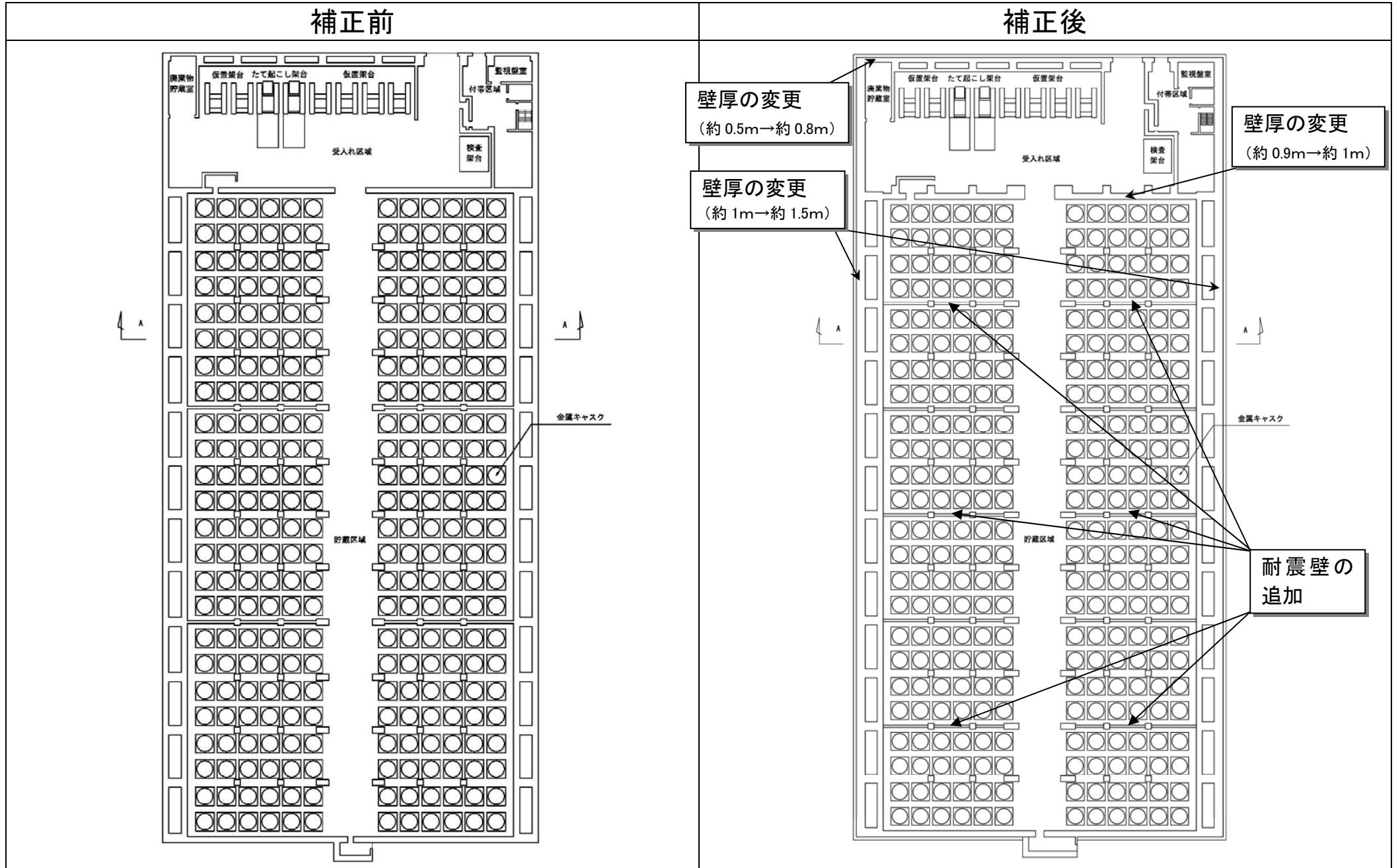
横浜断層の活動性を考慮することとし、断層長さをむつ市
きたかわだいさわ むかいたいら
北川代沢から横浜町向 平付近に至る約 15.4km と評価

(耐震設計上考慮すべき断層に変更し記載)

別添 2 火山評価に関する評価項目の比較

補正前	補正後
—	「使用済燃料中間貯蔵施設の安全審査における『自然環境』の考え方について」(平成 20 年 10 月 27 日 原子力安全委員会了承)に基づき、火山活動に関する評価の記載内容の充実をはかった。
<p>申請書記載項目「3. 地盤」に地盤の一部として記載</p> <p>○調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 文献調査 ✓ 地形調査 ✓ 地質調査 <p>○検討結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 概要調査結果 ✓ 詳細調査結果 	<p>申請書記載項目「7. 火山」として、「3. 地盤」から分離し章立てして記載するとともに記載内容を充実</p> <p>○調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 文献調査 ✓ 地形調査 ✓ 地質調査 ✓ 地球物理学的調査 ✓ 地球化学的調査 <p>○検討結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 考慮すべき火山 ✓ 火山の活動可能性 ✓ 影響の可能性 <p>○総合評価</p>

別添 3 貯蔵建屋機器配置図の比較



別添4 金属キャスク概要図（BWR用大型キャスク（タイプ1）の例）の比較

